

CONTENTS

- P1 警視庁機動隊 新隊員合同訓練警備部長査閲
 P2 第42回北海道支部激励会/第45回九州支部激励会
 P3 令和7年 全国殉職警察職員・警察協力殉難者 慰霊祭
 Member's Lounge「原子力政策と核セキュリティ」上坂充氏
 P4 大阪・関西万博警備 当会支援に感謝状授与

発行所 一般社団法人
機動隊員等を励ます会
〒103-0025 東京都中央区
日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館
発行人 中村 真一
TEL 03(5614)0710
FAX 03(5614)0719
http://www.hagemashi.com
jimukyoku@hagemashi.com

令和7年
12月号

はげまし

For the Riot Policemen
& Members

— No.591 —

警視庁機動隊 新隊員合同訓練 警備部長査閲



遊撃部隊活動要領

新隊員らは警視庁警備部の幹部の前に、基礎的な警備技術である連鎖隊形等の訓練に取り組んだ。また、昨今の情勢を踏まえ、現役中隊長による首相官邸などの「重要防護施設」の警備における突発事案を想定した特別訓練も実施。

早川剛史警備部長は訓示で、「新隊員の諸君、歴史と伝統のある警視庁機動隊への入隊おめでとう。警備部一同、心から歓迎する。本日の訓練において、皆の気迫あふれる澁滞とした姿を目的の当たりにし、実質10日間という短期間で、ここまでの練度仕上げた皆の努力に対し、心から敬意を表するとともに大変頼もしく感じたところである。この機会に私から皆に2点お願いしたい。

1点目は、「いかなるときも機動隊員としての誇りと使命感を持ち続けてほしい」ということ。これから皆が勤務する警視庁機動隊は、今から77年前、昭和23年5月の創設以来、我が国の歴史とともに歩んできた。警視庁機動隊は、圧倒的な実力を有する唯一無二の存在として、全国警察をリードし、首都東京のみならず日本全国の治安を担っている。皆には、先輩方が作り上げてきた輝かしい歴史

秋の異動で約500名の隊員が警視庁機動隊に配属された。去る11月5日には、夢の島総合警備訓練場(東京・江東区)で新隊員による合同訓練が行われ、当会から伊澤昭則常任理事が視察した。訓練では、デモ行進の警備や重要防護施設警備中の突発事案への対処方法などが確認された。

昨今の突発事案を想定し、 特別訓練も実施

と伝統を守り、あらゆる事態に的確に対処できるよう、誇りと使命感を持って鍛錬に励み、日々の任務に力を尽くすようお願いする。

共に学ぶ」なかで、積極果敢にチャレンジを繰り返して、いかなる厳しい現場においても共に乗り越える仲間との絆を深めていただきたい。

我々の持ち場は派手な陽の当たる現場ばかりではない。それでもなお、治安の最後の砦である警視庁機動隊の一員として、我々に与えられている崇高な使命を決して忘れることなく、上司、先輩、同僚と力を合わせ、それぞれの任務を確実に果たすようお願いすると述べた。



デモ行進規制要領



暴徒制圧要領：暴徒の投げた火炎瓶による出火を高圧放水車が鎮火

特別訓練：刃物を振り回す犯人を制圧



→ 今月の賛助広告会員 →

日本製鉄(株)
 玉造(株)
 (株)辻さく
 (株)エヌテック
 平和農産工業(株)
 日鉄鋼板(株)
 合同製鐵(株)

北海道支部・九州支部 激励会を開催

機動隊員と会員とが交流を深める支部交流激励会が今年度もスタートした。10月は北海道支部と九州支部で開催。その様子を紹介する。

第42回 北海道支部激励会

10月14日札幌パークホテル

自然災害の激甚化など
変化に備える隊員を激励

北海道支部激励会は約1000名の機動隊員をはじめ来賓の濱坂真一北海道副知事、友井昌宏北海道警察本部長と警察幹部、会員ら合わせて約400名が一堂に会した。

会場に入場する機動隊員を会員が拍手で迎えた後、当会の須藤哲也北海道支部長は「9月に真駒内にて機動隊の全体訓練を視察し、隊員の気遣いに圧倒された。訓練を生で見て、日頃の訓練の大切さを学んだ。7月下旬にはカムチャッカ半島沖の巨大地震で、私の住む苫小牧でも警報・注意報が発せられた。高台に避難する車で道路は大渋滞し、この日は気温も高く熱中症になる人もいた。幸い津波は1m以下で大きな災害は起こらなかったが、これもある意味で避難訓練だったと捉え、改善・反省点を見出したのではないかとと思う。さらに9月には北海道で初めてとなる線状降水帯情報も発せられた。今年はどنگり、ブナの実が不作のため、ヒゲマが市街地に出没して

いる。自然が牙を剥いてきた。想定外の自然災害が発生した場合も機動隊員の皆さんの力を借りることも多々あるかと思う。今日は、この会を通じて機動隊員の皆さんと会員のコミュニケーションをさらに深めてほしい」と述べた。

続いて当会の中村真一理事長は、「増加する山岳遭難に伴う出動に加え、幾度にもわたる福島第一原発関連施設特別警戒に伴う特別派遣などの様々な警備事案に対し、万全の態勢を整え完遂された」と北海道の機動隊員に感謝を述べた。

また来賓の濱坂副知事は、鈴木直道知事の祝辞の代読として、当会に対し「日頃から地域住民と北海道警察を結ぶ『架け橋』として、様々な活動で機動隊の活動に対する理解促進に努められている」と感謝を述べ、機動隊員に向けて「今後も健康に留意し、道民の安心安全に尽力してほしい」と激励した。

続いて、友井本部長は「ここに出席している機動隊員は、原子力関連施設や領事館等の重要施設の



中村理事長 須藤支部長

警戒警備、各種警備実施に出動し、道内外の治安維持にあたっている。今年は道内初の線状降水帯の発生で大きな被害が発生した。隊員はいかなる事態にも迅速的確に対応できるよう日々精進している」と機動隊の活動に触れ、「今後も支援協力を賜りたい」と述べた。

そして、岸本将世話人(日本製鉄(株)常務執行役員北日本製鉄所長)が乾杯の音頭を取り、懇親の時間となった。

隊員と会員が交流を深め、宴もたけなわとなると、北海道警察本部の小山晃己機動隊長が登壇。「全員一丸となって皆様方からの多くのご声援をしっかりと受け止め、さらなる高みを目指して応えていきたい」と述べた。

最後は全員で、「この世を花にするために」を斉唱。中締めは安藤毅世話人(日本製鉄(株)北海道支店長)は、9月の北海道警察機動隊全体訓練を視察したうえで「日々の過酷な訓練の上に私たちの安全・安心があることを実感した。自然災害が激甚化していく中で、機動隊の任務は質・量ともにますます難しくなると思われるが、今後も尽力してほしい」と述べた。そして温かな雰囲気の中万歳三唱を行い閉会となった。



懇親を深める会員と機動隊員

第45回 九州支部激励会

10月28日博多サンヒルズホテル

支部創設50周年
機動隊のさらなる活躍に期待

九州支部激励会は、総勢約230名が参集した。林学九州管区警察局長、住友仁福岡県警察本部長と警察幹部をはじめ福岡県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県の機動隊員94名と会員が参加し、交流を深めた。

最初に挨拶をした自見修真九州支部長は「機動隊の皆さんは、九州を毎年のように襲う豪雨災害、あるいは火山、津波等、様々な極限状況を想定し毎日激しい訓練を重ねている。九州にはスポーツや武道を愛し、国を思い、己を鍛えるスピリットが根づいている。当支部は今年50周年の節目、その精神を皆さんと共有していきたい」と隊員を激励した。

続いて中村真一理事長は、天皇皇后陛下と愛子内親王殿下の6月沖縄・9月長崎ご訪問に伴う警衛警護、8月の九州各地で発生した線状降水帯に伴う豪雨災害での救出救助など今年の警備事案を振り返り、「万全の体制を整え完遂された」と大規模警備や被災地への部隊出動が続いた



整列する機動隊員



住友本部長 林局長 中村理事長 自見支部長

九州の機動隊員に感謝を述べた。

来賓の林学九州管区警察局長は、「今年には戦後80年の節目を迎え、天皇皇后陛下ならびに愛子内親王殿下の沖縄・長崎ご来県に伴う警衛警備や九州各地で発生した豪雨災害の救出救助で九州各県の機動隊が中核を担った」と労い、「励ましの言葉をいただければ今後の大きな活力になる」と会員に呼びかけた。

また、住友仁福岡県警察本部長は、戦後80年の節目に沖縄、広島、長崎に九州各県の機動隊の特別派遣があり、それぞれの地で重要な任務を全うしたことを紹介。「集中豪雨では川で2名の方がお亡くなりになったが、機動隊は各県警や海上保安庁と連携し早期にご遺体を発見して速やかにご遺族にお返しすることができた」と振り返った。

来賓の挨拶のあと、乾杯の音頭をとった奥沢顧問(日本製鉄(株)九州支店長)は、「東京では



杉山顧問 井島大隊長(左)と町田巡查部長 奥沢顧問

～ 今月の賛助広告会員 ～

- 三井物産スチール(株)
- 豊田通商(株)
- 宮崎精鋼(株)
- 自見産業(株)
- 五十鈴(株)
- 大東港運(株)

昨日トランプ大統領が来日し、機動隊の皆さんが警衛警備に当たられている。機動隊の皆さんのおかげで国家の信頼と我々国民の安全・安心が維持されていることに心から感謝する」と述べた。

全員での乾杯後は懇親の時間となり、会員と機動隊員とが和やかに交流。九州管区機動隊第三大隊長の井島俊一郎氏が謝辞を述べ、鹿児島部隊の町田巡查部長によるフリップを使った機動隊あるあるで会場を賑わせた。最後に、全員で「この世を花にするために」を斉唱し、杉山敏和顧問(日鉄エンジニアリング(株)九州支社長)が中締めを行った。

令和7年 全国殉職警察職員・ 警察協力殉難者慰霊祭

新たに5柱の御霊を合祀

去る10月18日、警察庁と（公安警察協会）主催の慰霊祭がグランドアーク半蔵門にて行われた。式には石破茂内閣総理大臣、坂井学国家公安委員会委員長、楠芳伸警察庁長官、遺族等約100人が出席。当会から、伊澤常任理事が参列した。

今回新たに合祀された殉職警察職員は2柱、また警察協力殉難者は3柱の計5柱であった。式では合計6286柱の御霊を慰めた。音楽隊の演奏のなか、儀仗隊員により、殉職警察職員・警察協力殉難者名簿が奉納された。

楠木長官は、「殉職された2柱の警察職員は、治安を維持するために、旺盛な使命感を持って、犯罪捜査、地域警察活動といった様々な警察活動に従事されていたなか、誠に残念ながら、志半ばにして職に殉ぜられた方々です。いずれの方々も世のため人のために、積極果敢に職務を遂行され、治安を維持する警察職員としての誇りと使命感を、身をもって示されました。また、3柱の警察協力殉難者におかれましては、自らの危険を顧みず、溺れている人を救助しようとするなか、不幸にも命を落とされた方々です。他人の生命を救うために死力を尽くされた献身的な行いは、実に気高く、崇高なものでした。私たちは、御霊の尊い行いや身をもって示された御遺志を、いつまでも深く心に刻み、全国警察が一丸と

なつて、国民の皆様の期待と信頼に応えていくことを、ここに固くお誓い申し上げます」と式辞を述べた。長官の式辞の後、参列者全員で黙とうを捧げた。

続いて石破首相は追悼の辞で、「この度、新たに祀られた5柱の御霊は、人々が安心して暮らせる社会の礎である良好な治安を守るため、全身全霊を捧げられた警察職員と、自らの危険をも顧みず、目の前の命を救うために力を尽くされた方々です。皆様が生きて示された高潔な精神と確固たる勇氣は、私たちの誇りです。同時に、かけがえのない御家族を失われた御遺族の皆様の深い悲しみに思いを致しますと、私自身、悲痛の念に堪えません。御遺族の皆様に対し、衷心よりお悔やみを申し上げます。私たちは御霊の尊い御遺志を受け継ぎ、我が国で暮らす方々を犯罪や災害の脅威から守るという責務を全うし、安全で安心できる日本を次の世代に引き継いでいくことを、ここに固くお誓い申し上げます」と述べた。

坂井国家公安委員会委員長の追悼の辞のあと、2月、山口県岩国市の国道で交通事故の対応中、大型トラックにはねられ亡くなった山口県警察自動車警ら隊の山口直人警部補（当時29）と2階級特進の父、宇太郎さんが遺族を代表し、追悼の言葉を述べた。その後、参列者が献花した。最後に田中警察協会会長が挨拶し、閉会した。

Member's Lounge 機動隊員等を励ます会 10月の朝食講演会

電力需要が高まるなかで、原発に関する動きが活発化している。今回は日本の原子力政策や原子力利用の最前線の状況について、原子力委員会の上坂委員長にお話をいただいた。



〈10月16日のゲスト〉
うえ さか みつる
上坂 充氏
内閣府原子力委員会委員長

プロフィール

1957年 神奈川県生まれ
経歴
1980年 東京大学工学部卒業
1982年 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了
1982～83年 University of Wisconsin大学院
原子力工学専攻に留学
1985年 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、工学博士取得
石川島播磨重工業（株）入社
1991年 東京大学工学部附属原子力工学研究施設助教授
1999年 東京大学大学院工学系研究科附属原子力工学研究施設教授
東京大学大学院工学系研究科教授
2005年 東京大学大学院工学系研究科教授
原子力専攻（専門職大学院）教授
2020年 東京大学退職
原子力委員会委員長
2023年 原子力委員会委員長（再任）
現職

著書
「原子炉構造工学」（コロナ社）執筆・監修（2009、2021（第2版））
「原子力・量子・核融合の事典 全6巻」（丸善出版）副編集長・執筆（2014）
「東京大学工学教程「放射線生物学」」（丸善出版）監修・執筆（2021）
“Femtosecond Beam Science”，Author & Editor，Imperial College Press，2005

原子力政策と核セキュリティ

1. 原子力政策

まず原子力委員会の紹介ですが、10年以上前は5名で構成されていましたが、原子力利用に関する政策の重要事項に重点化することとし、現在は3名です。実際には内閣府の参与4名の支援を得ながら7名で活動しています。業務としては、①原子力の研究、開発及び利用についての政策に関すること、②関係行政機関の原子力利用に関する事務の調整に関すること、③原子力利用に関する資料の収集及び調査に関すること、④法律に基づき原子力委員会に属せられた事務その他原子力利用に関する重要事項に関することを扱っています。具体的な業務のひとつとして、原子力の毎年の状況を記した原子力白書を発行しています。とてもボリュームがあり、昨今、情報が発達している中でこの白書は全てエビデンスが揃っているの、ある意味辞書のような役割であると評判をいただくこともあります。

また、原子力の利用に関する基本的な考え方を5年に一度改定しています。原子力利用の基本目標と、各目標に関する重点的取組を

定めており、政府としての長期的方向性を示す羅針盤となるものです。直近は2年前に改定しており、これを尊重する旨が閣議決定されています。今後重点的に取り組む内容を9つ定めており、白書もそれに応じて章を設けています（白書目次参照）。

令和6年度版 原子力白書目次

- 特集
第1章 日常生活を支える原子力技術
東京電力福島第一原子力発電所事故の反省・教訓と福島復興・再生の取組
第2章 エネルギー安定供給とカーボンニュートラルに資する安全な原子力エネルギー利用
国際潮流を踏まえた国内外での取組
第3章 原子力の平和利用と核不拡散・核セキュリティの確保への取組
第4章 原子力利用に関する国民からの信頼回復の取組
廃止措置及び放射性廃棄物への対応
第5章 放射線・放射性同位元素の利用の展開
第6章 原子力利用に向けたイノベーションへの取組
第7章 人材育成とサプライチェーンの維持・強化
第8章
第9章

今月の賛助広告会員

日鉄物産(株)
東鋼業(株)
大阪製鐵(株)
芝本産業(株)
山陽特殊製鋼(株)
新ケミカル商事(株)
岡谷鋼機(株)

(P4へつづく)

2. 世界の原子力情勢

2023年のCOP28（国連気候変動枠組条約第28回締約国会議）では、原子力の果たす役割が改めて注目されました。日本を含む25カ国で、2050年までに20年比で原子力発電容量を3倍にする野心的な共同宣言が採択され、翌年の2024年COP29では6カ国が追加署名し、署名国は31カ国となりました。

世界の原子力発電電力量の推移を見ると、福島の事故で一度電力量は減りましたが、データセンターと半導体工場のニーズが高まり、上昇しています。また、小さな原子炉であるSMR（小型モジュール炉）も考えられます。これは日立GEB（ベルノバ）ニュークリアエナジーの原子炉BWRX-300が非常に有力であるとされています。BWRX-300は沸騰水型の30万kWの小型軽水炉で、カナダでは2029年に1基の運転開始が決定されています。さらに3基追加する方針であると公表されました。アメリカでもテネシー州で最大2基、エ

2024年は総出力が史上最高に達しました。今年9月、IAEA（国際原子力機関）が原子力発電容量の予測を公表しました。ハイケースシナリオとローケースシナリオがあり、ハイケースでは、2024年の出力に対して、2050年は2.6倍程度の増加が必要であると予測しています。今年2月、第7次エネルギー基本計画を政府が閣議決定しましたが、2040年のエネルギー需給の見通しでは、発電電力量のうち原子力の割合は2割となっています。現在は10%程度なので、倍以上にしなければいけないということになっています。

この2割の原子力比率を実現するためには、既設炉を最大限活用するとともに、より安全性が高く、燃焼効率の高い次世代革新炉の開発・設置も必要です。三菱重工のSRR-12000は120万kWの加圧水型の革新軽水炉ですが、このようなものを新設していかなければなりません。

また、小さな原子炉であるSMR（小型モジュール炉）も考えられます。これは日立GEB（ベルノバ）ニュークリアエナジーの原子炉BWRX-300が非常に有力であるとされています。BWRX-300は沸騰水型の30万kWの小型軽水炉で、カナダでは2029年に1基の運転開始が決定されています。さらに3基追加する方針であると公表されました。アメリカでもテネシー州で最大2基、エ

「P3からつづく」

ストニアで4基の計画が出てきました。このほかアジアの国々もSMRの導入計画を明言しています。

これまで計画はあつたけれどずっと留まっていたのは、みんなが様子見の状態だったということ。カナダがトリガーを引いたことで、世界中で一気にSMRの建設計画が立ち上がりました。SMRは出力が小さいため、万が一の事故でも未然に防げ、一時避難の期間や避難区域の範囲など、住民への影響も軽減されるタイプの炉です。

現在、国は再びプルトリウムを使った高速炉の概念設計を開始しています。非常に国際情勢が複雑になっており、東側から燃料輸入ができない状況になると、西側で燃料のマネジメントをしなければならぬ。そう考えた場合、プルトリウムをうまく利用していくことで、少なくとも10倍の燃料価値が出てくると思っています。

9月末にIAEAの総会に出席しましたが、アメリカやフランス、EUやIAEAの幹部の方々とは会談し、世界の日本を見る目が変わってきたのを感じました。事故があり14年で再稼働が進み、新設の準備が進み、SMRの計画にも参画している、その原動力は何かという質問がたくさん出ました。この質問に対しては、やはり私は安全強化と原子力業界をあげた理解増進活動の結果と答えています。

3. 廃棄物処理

次の課題が使用済み燃料の廃棄物処理です。核燃料サイクルを回さないとゴミが溜まる一方で、日本原発が来年度中に六ヶ所再処理工場を竣工することになっていますが、まずはこれをぜひ達成してほしい。プルトリウムをウランの中に入れて燃やして燃料とし

て有効活用するMOX燃料工場も2027年度竣工予定です。

最終処分地の選定は本場に時間をかけなければいけなくて、よく「トイレのないマンション」と批判を受けますが、決してそんなことはありません。地層処分するための様々な研究は何十年も続いています。日本原子力研究開発機構では、ガラス固化した容器を地盤に埋めて水や圧力をかけたときにどれだけの耐久性があるのかといった基礎研究が多々行われています。私も見学しましたが、しっかりとした研究開発が行われていると実感しました。

放射性廃棄物に含まれるマイナーアクチノイドは半減期が10万年とされる非常に長期にわたり放射線を出す物質ですが、これを高速炉の中に入れると核変換が起きて消えていきます。高速炉の運転サイクルが確立すると、10万年の半減期が300年になります。したがって、ここまで技術の力でもっていききたい、これが最終的な長期ビジョンであると原子力委員会は宣言しています。

4. 核医学

実は放射性廃棄物の中には、がん治療に使える放射性同位元素があります。ラジオアイソトープといいますが、それをがん細胞に集まる化学物質につけると、がんを治療してくれる。このような医療は核医学という分野となります。

がんを調べる画像診断でPETという言葉を聞いたことがあるかと思いますが、この核医学では、がんを画像に映し出し特定した後、がんの殺傷効果が強い元素をがんにつけて治療までできます。治療(セラピー)と診断(ダイアグノシス)が一緒にできるということで、セラノスティクスという新しい用語ができています。

2016年、ドイツの大学病院での最初の治療の結果、転移が

が消失しました。画期的な治療でありドイツでは現在、許認可が下りています。日本も許認可を取ろうとしているところです。

また、核医学を使ったアルツハイマーの診断も始まっています。

放射性核種というと、悪いもののように思いますが、良いもの、良いものもあるわけで、良いものを高品質で抽出して、がんやアルツハイマーの診断・治療に使える時代です。これも非常に重要な原子力の応用の一つだと考えています。

原子力委員会では3年前に「医療用等ラジオアイソトープ製造・利用推進アクションプラン」を策定しています。現在、大学や研究機関、病院、企業、関係省庁へのフォローアップを行っています。課題は多いですが、進展もあり、一部のがん治療に関しては来年ぐらいいに日本で許認可を得られるのではないかと考えているところではあります。

5. 核セキュリティ

次に核セキュリティについてですが、今年9月、玄海原子力発電所に何らかの飛行体が現れたという報道発表がありました。外部からの脅威に対して、しっかりと原子力発電所を守ることが核セキュリティです。世界では核セキュリティサミットが行われ、2010年の第1回は鳩山元首相が出席されました。

Dirty Bomb(汚い爆弾)という言葉聞いたことがあるでしょう。これは核爆弾ではなく、化学爆弾に放射性物質を入れた爆発物です。爆発力はいいたことはありますが、核物質が飛び散るものですから、事故直後の福島の一部の地域のように立ち入りができなくなる。

また2022年には日本人の一人のヤクザが、核物質をミャンマーから入手して軍事兵器と取引

しようとし、アメリカ麻薬取締局のおとり捜査で捕まったという報道がありました。このようなことが起きないよう、核物質の闇の流通をしっかりと押さえることも重要ですね。

発電所の経営の仕方や組織文化は各国で異なりますが、トータルとして安全を確保しなければならぬ。現在、原子力安全や核セキュリティ、保障措置といった安全を確保するための国際的調和を図る国際会議が行われ、安全に対する議論が世界で行われています。

6. 人材育成

最後に人材育成についてお話しします。私も5年前まで大学で3年間教鞭をとっていましたが、実はスリーマイルやチェルノブイリ、福島などで事故があると、原子力の学問分野は人気がなくなってきました。各大学の専攻や学科は欠員を出すくらい潰れてしまっています。ですから放射線医療やセキュリティ、最近ではAIの分野を入れるなどして定員を確保しなければなりません。しかしそうなると、原子力発電に関する講義が減少し、技術力が落ちてしまいます。

これを補うためには、私は社会人教育だと思っています。まずは国家試験を強化して国家資格を取らせるようにする。発電所がある限り資格試験は変わりません。技術は上がっているのに逆に難しくなっています。また、技能に関しては、工業高校や高専から電力や

メーカーに行く人が減っています。総合大学に進学するためです。

したがって、溶接技能者や技術士、ボイラー・タービン主任技術者が減ってしまっています。この教育も優先しなければいけません。高等専門学校の連合に、技能の教育を強化するようお願いしています。今後、再稼働や世界ではSMRの建設があるので、人材育成は極めて重要だと考えています。

講演後質疑応答

Q 海水からウラン資源を採取する技術について、どのようにお考えでしょうか。

A 数ヶ月前、海水からウランを吸着する材料を作っている先生と学会のシンポジウムで話すと、絶対やるべきだとおっしゃっていました。今、燃料サプライチェーンに危機感があるので、新しい技術の育成も必要かと思っています。

Q 原子力委員会と原子力規制委員会は違うのでしょうか。

A 規制委員会は原子炉等規制法に基づく安全とセキュリティを担い、原子力委員会は原子力基本法に則り中立的な立場で定性的な指標を出すのが原則です。ただ、事故から2年後にできた当初の規制委員会と現在の規制委員会ではかなりスタンスが変わってきているように感じます。私は3年前、規制委員会との意見交換会で、アメリ

カの原子力規制委員会では発電のための効率化が重要と記しているが規制委員会はどうかと聞きました。規制委員長はその時、効率化という表現は使わず、改善とおっしゃった。けれどその後の中期目標・業務計画を見ると、文章に効率化という言葉が入っています。

原子力規制委員会のスタンスは、やはり国民の声なこともベースになると思っています。

Q 柏崎刈羽原発は、停止から長期間経っているため携わった人も減っているかと思いますが、再稼働の際に安全を確保できますか。

A 確かに14年止まっています。が、昨年再稼働した女川と島根の人が柏崎で現場指導をしています。私も3月に現地に行きました。いつでも運転できるような体制で準備をしていました。5年前にID不正利用の問題がありましたが、当時10名しかいなかったセキュリティ担当がかなり増えました。セキュリティも強化しているので、再稼働は期待できると思っています。

編集後記

警察がライフル銃でクマを駆除できるようにになりました。国民の生命を守る大切な任務ですが、機動隊の負担がまた増えていきます。このようなことになる前に対策はなかったのでしょうか。従前の環境省のクマ被害対策施策パッケージでは不十分と言われており、より実効性のある対策が望まれます。(励ます会「事務局」)

大阪・関西万博警備 大阪府警察本部長より 当会支援に感謝状授与

4月13日から10月13日まで開催された大阪・関西万博。当会は警備支援品として、キレートレモンクエン酸ゼリー7万2000個を大阪府警察本部に寄贈していた。この支援に対し、去る10月24日に岩下剛大阪府警察本部長より本部及び大阪支部に感謝状が授与された。



→ 今月の賛助広告会員 →

堀口海運(株)
日鉄エンジニアリング(株)
日鉄物流(株)
日鉄建材(株)
藤田金属(株)

《賛助広告募集中》